

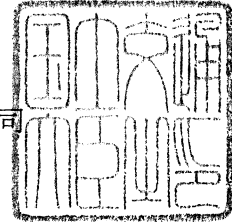


認 定 書

国住指第 2750 号
平成 21 年 12 月 4 日

吉野石膏株式会社
代表取締役社長 須藤 永一郎 様

国土交通大臣 前原 誠司



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号及び同法施行令第 107 条第二号（間仕切壁（非耐力壁）：1 時間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
FP060NP-0258
2. 認定をした構造方法等の名称
強化せっこうボード三枚重張／間仕切壁
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名

強化せっこうボード三枚重張／間仕切壁

2. 寸法

壁高及び壁幅については、構造計算等により構造安定性が確かめられた寸法とする。

3. 材料構成等

項 目	製 品 仕 様
① 被覆材	規格：不燃材料認定番号 NM-8615 (GB-F(V))、JIS A 6901 形状：平板 表面の形状：平滑 端部の形状：スクエア、テーパ、ベベル 厚さ(mm)：21・25±0.5 かさ比重：0.77(-0.02)以上 幅(mm)：最小606、最大1,210 (*幅は一般部における寸法を示す。) 長さ(mm)：4,500以下(上部と下部の躯体の間に横目地なし)
② 上部、下部及び端部ランナー	材料名及び規格 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302) ・ 電気亜鉛めっき鋼板(JIS G 3313) ・ 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314) ・ 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317) ・ 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321) 形状・寸法(mm) └-35~1000×60~150、厚さ0.8以上
③ 副構成材料	補強ジョイナー(中張り材縦目地用)(必要に応じて取付ける。) 材料名及び規格 材料名及び規格は上記の下地材に同じ。 形状・寸法(mm) a. └-10~60×21~90、厚さ0.2以上 b. └-10~60×21~90、厚さ0.2以上 c. └-40~65×21~90、厚さ0.4以上 d. その他：厚さ0.2以上の加工鋼板
	亜鉛めっき鋼板等(必要に応じて取付ける。) 種類、規格等 a. 亜鉛めっき鋼板 材料名及び規格 材料名及び規格は前記の下地材に同じ。 厚さ(mm)：0.11~2.3 大きさ(mm)：50~4,000×100~4,000 b. メタルラス 規格：JIS A 5505 質量(kg/m ²)：0.45~1.05 大きさ(mm)：50~4,000×100~4,000

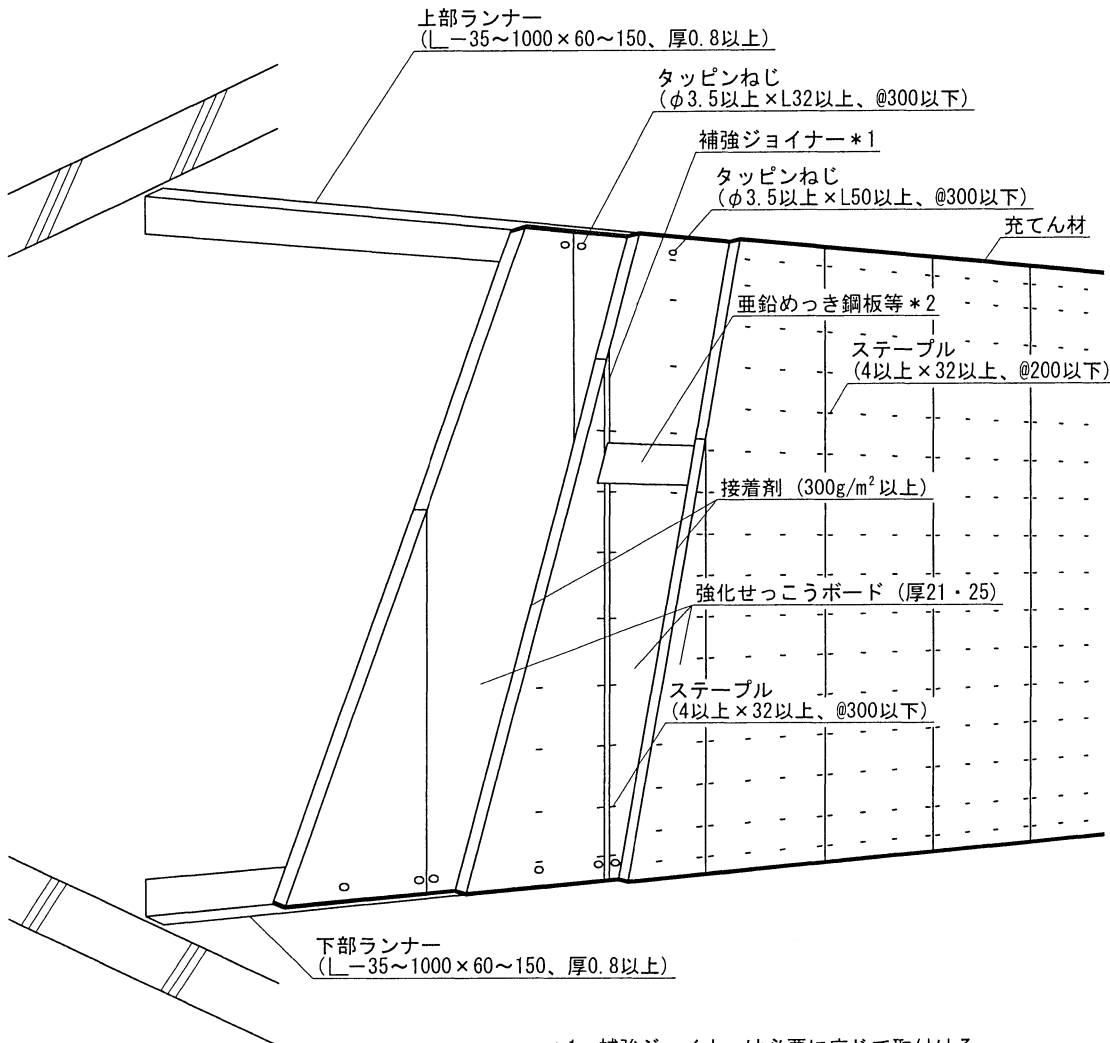
項 目	製 品 仕 様
③ 副 構 成 材 料 タ ッ ピ ン ね じ、ステープ ル、接着剤等	<p>下張り材取付け用</p> <p>タッピンねじ 寸法(mm)：φ3.5以上×L32以上 留め付け間隔(mm)：300以下</p> <p>中張り材取付け用</p> <p>a. タッピンねじ 寸法(mm)：φ3.5以上×L50以上 留め付け間隔(mm)：300以下</p> <p>b. 接着剤 種類 酢酸ビニル樹脂系、アクリル樹脂系、ウレタン樹脂系、エポキシ樹脂系、ポリアミド系、ポリサルファイド系、シリコーン系、合成ゴム系、せっこう系、炭酸カルシウム系 塗布量(g/m²)：300～900</p> <p>c. ステープル 寸法(mm)：幅4以上、長さ32以上</p> <p>d. タッピンねじ 寸法(mm)：φ3.5以上×L32以上</p> <p>取付け方法 上記aで下地材に取付け、bを併用し、c又はdの一方は300mm以下の間隔で、他方は必要に応じて任意の間隔で下張り材に取付ける。</p> <p>上張り材取付け用</p> <p>a. 接着剤 種類：前記の中張り材取付け用接着剤に同じ。 塗布量(g/m²)：300～900</p> <p>b. ステープル 寸法(mm)：幅4以上、長さ32以上</p> <p>c. タッピンねじ 寸法(mm)：φ3.5以上×L32以上</p> <p>d. タッピンねじ 寸法(mm)：φ4.0以上×L75以上 留め付け間隔(mm)：600以下</p> <p>取付け方法 上記aを併用し、b又はcの一方は200mm以下の間隔で、他方は必要に応じて任意の間隔で中張り材に取付ける。必要に応じてdを併用して、下地材に取付ける。</p> <p>補強ジョイナー取付け用</p> <p>a. タッピンねじ 寸法(mm)：φ3.5以上×L32以上</p> <p>b. 粘着テープ又は両面粘着テープ 粘着剤の種類 アクリル樹脂系、ポリアミド系、天然ゴム系、合成ゴム系 寸法(mm)：厚さ3以下、幅75以下</p> <p>c. 接着剤 種類：前記の中張り材取付け用接着剤に同じ。 塗布量(g/m²)：300以下</p> <p>取付け方法 上記aからcのいずれかで中張り材に必要なに応じて取付ける。 (以下、上記aからcを補強ジョイナー取付け用タッピンねじ等という。)</p>

項 目	製 品 仕 様
③ 副構成材料 タッピンねじ、ステーブル、接着剤等	亜鉛めっき鋼板等取付け用 a. タッピンねじ 寸法(mm) : φ2.8以上×L10以上 b. リベット 寸法(mm) : φ2.8以上 c. ステープル 寸法(mm) : 幅4以上、長さ13以上 d. 粘着テープ又は両面粘着テープ 種類・寸法 前記の補強ジョイナー取付け用粘着テープ又は両面粘着テープに同じ。 e. 接着剤 種類 : 前記の中張り材取付け用接着剤に同じ。 塗布量(g/m ²) : 300以下 取付け方法 上記aからeのいずれかで下地材、下張り材、中張り材に必要な応じて取付ける。 (以下、上記aからeを亜鉛めっき鋼板等取付け用タッピンねじ等という。)
壁端部(柱・はり等との取り付け部)の仕様及びその処理材(充てん材)	下張り材、中張り材又は上張り材のいずれかに、あるいはこの内の二者又は三者に目透かしを設ける場合は、それぞれの目透かし幅は10mm以下とする。下張り材、中張り材及び上張り材の目透かし部には、次のaからcのいずれかを充てんする。 a. シーリング材 種類 ポリウレタン系、アクリル系、アクリルウレタン系、ポリサルファイド系、ポリイソブチレン系、シリコーン系、変成シリコーン系 目透かし幅1mm当たりの充てん量(g/m) 下張り材目透かし部 : 12以上 中張り材目透かし部 : 12以上 上張り材目透かし部 : 12以上 b. ロックウール、ロックウール保温板、ロックウールフェルト、ロックウールモルタル、グラスファイバーフェルト 密度(kg/m ³) : 10以上 c. セッコウ系、炭酸カルシウム系無機質充てん材 目透かし幅1mm当たりの充てん量(g/m) 下張り材目透かし部 : 12以上 中張り材目透かし部 : 12以上 上張り材目透かし部 : 12以上

4. 構造説明図

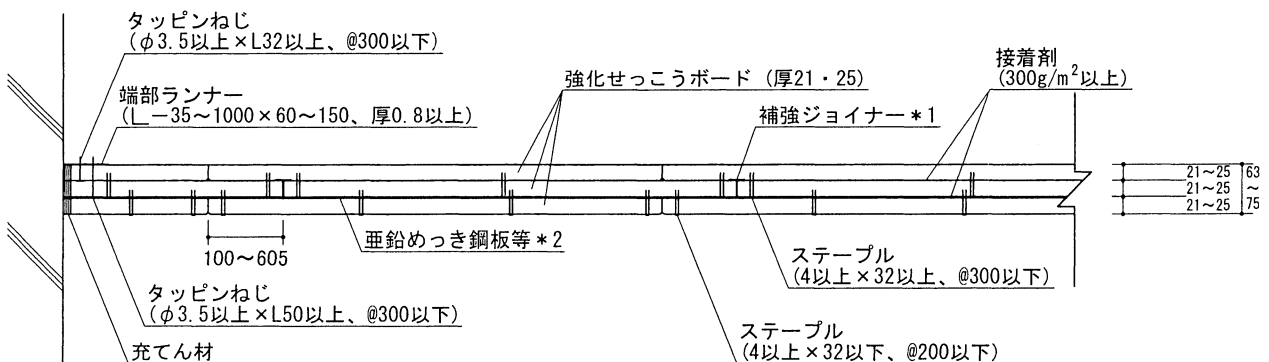
(1) 透視図

(単位 : mm)



- *1 補強ジョイナーは必要に応じて取付ける
形状：上、下等 (厚さ0.2mm以上)
- *2 亜鉛めっき鋼板等は必要に応じて取付ける
種類：亜鉛めっき鋼板 (厚さ0.11~2.3mm) 又はメタルラス (0.45~1.05kg/m³)
取付位置：下地材と下張り強化せっこうボードとの間、
下張り強化せっこうボードと中張り強化せっこうボードとの間又は
中張り強化せっこうボードと上張り強化せっこうボードとの間

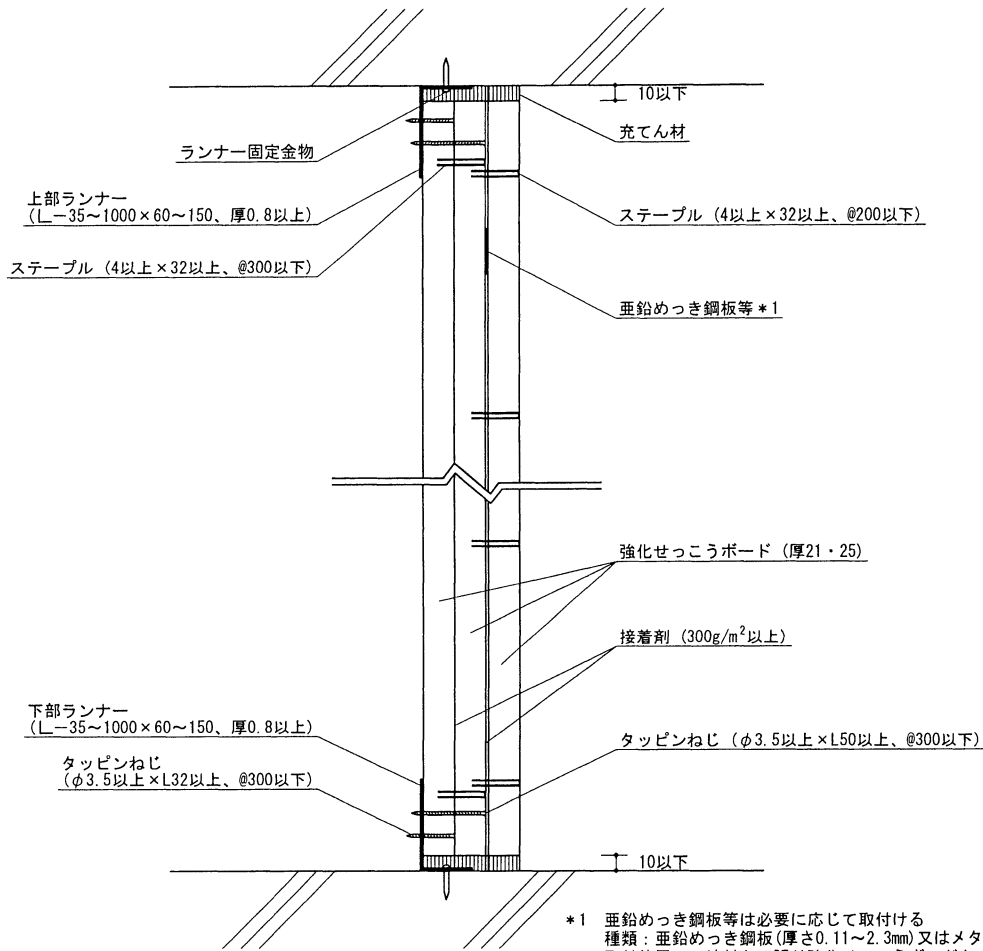
(2) 水平断面図



(3) 断面詳細図

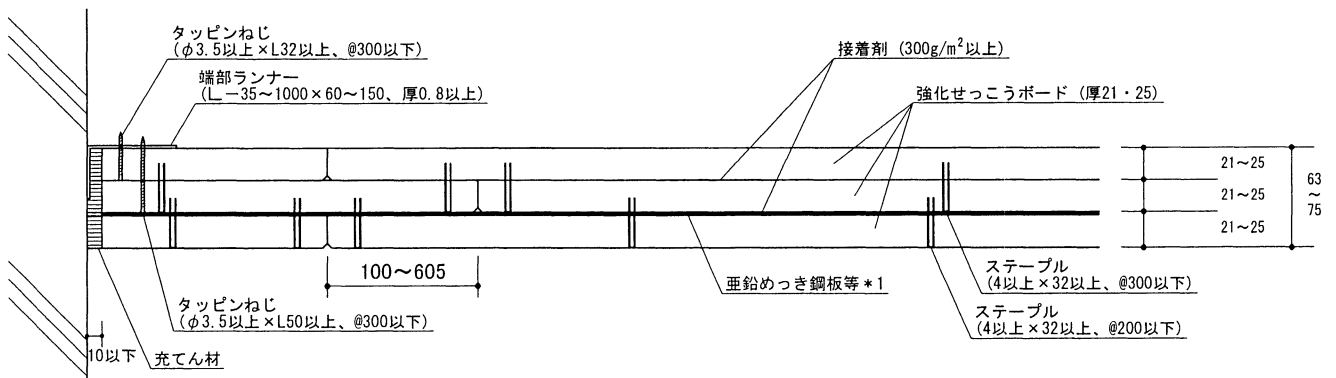
(単位 : mm)

①補強ジョイナーを取付けない場合

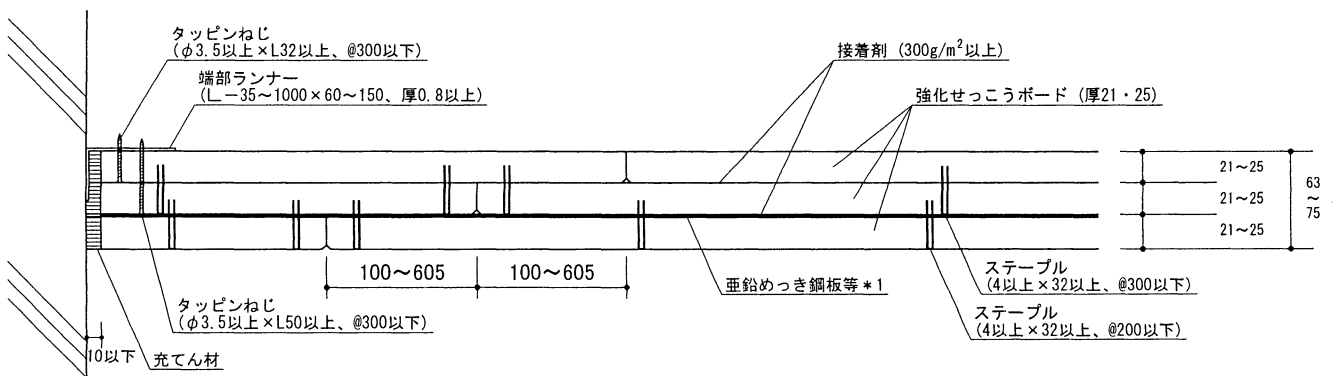


*1 垂鉛めっき鋼板等は必要に応じて取付ける
種類：垂鉛めっき鋼板(厚さ0.11~2.3mm)又はメタルラス(0.45~1.05kg/m³)
取付位置：下地材と下張り強化せっこうボードとの間、
下張り強化せっこうボードと中張り強化せっこうボードとの間又は
中張り強化せっこうボードと上張り強化せっこうボードとの間

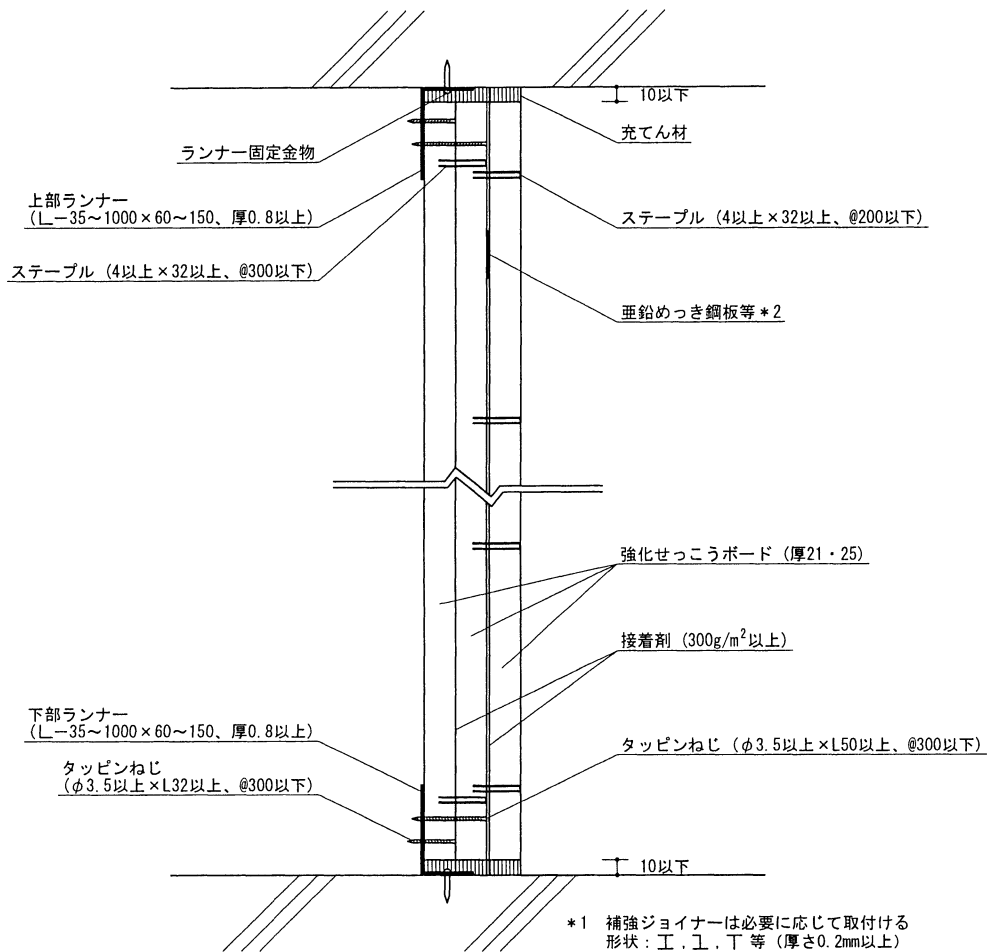
①-1 上張り材と下張り材の縦目地が同位置となる場合



①-2 上張り材、中張り材、下張り材の縦目地が同位置とならない場合

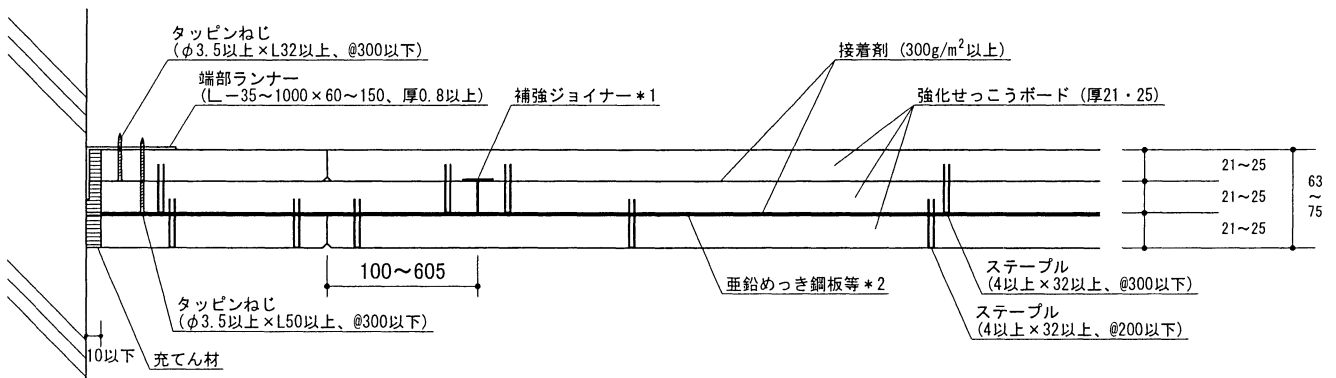


②補強ジョイナーを取付ける場合

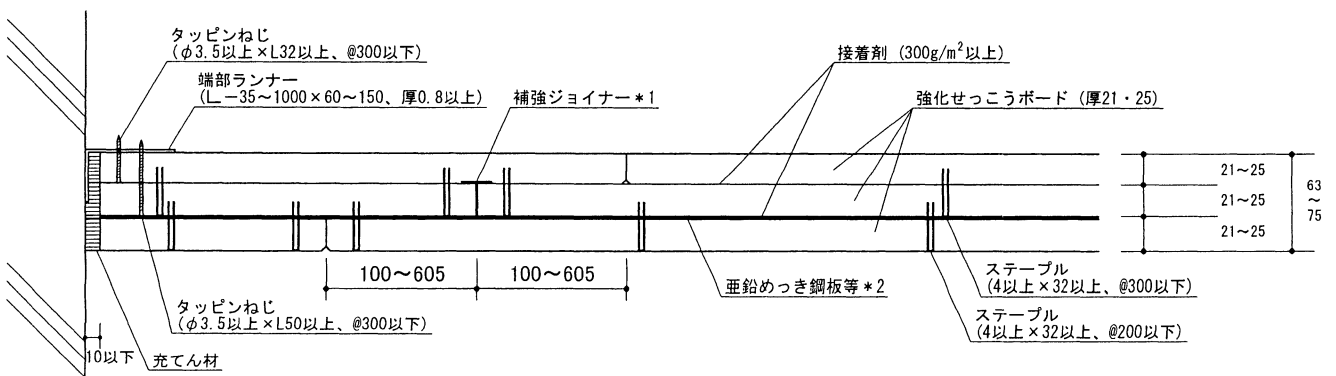


- *1 補強ジョイナーは必要に応じて取付ける
形状：工、L、T等（厚さ0.2mm以上）
- *2 垂鉛めっき鋼板等は必要に応じて取付ける
種類：垂鉛めっき鋼板（厚さ0.11~2.3mm）又はメタルラス（0.45~1.05kg/m³）
取付位置：下張り材と下張り強化せっこうボードとの間、
下張り強化せっこうボードと中張り強化せっこうボードとの間又は
中張り強化せっこうボードと上張り強化せっこうボードとの間

②-1 上張り材と下張り材の縦目地が同位置となる場合



②-2 上張り材、中張り材、下張り材の縦目地が同位置とならない場合



5. 施工方法

(1) 下地材の取付け

下地材を取付ける位置に墨出しを行う。下地材を取付ける躯体がコンクリートの場合は、ランナー固定金物にて、鋼製の場合には、直に又はランナー受けピースを介してタッピンねじ、溶接又はボルトにて、それぞれ 600 mm 以下の間隔で下地材を躯体に取付ける。

(2) 亜鉛めっき鋼板等の取付け(下地材と下張り強化せっこうボードとの間に取付ける場合)

必要に応じて、亜鉛めっき鋼板等を下地材と下張り強化せっこうボードとの間に使用する場合は、予め現場の寸法に合わせて切断した亜鉛めっき鋼板等を下地材に亜鉛めっき鋼板等取付け用タッピンねじ等で取付ける(必要に応じて下穴を開ける)。

(3) 下張り強化せっこうボードの取付け

下張り強化せっこうボードは、予め現場の寸法に合わせて切断し、 $\phi 3.5$ mm 以上 \times L32 mm 以上のタッピンねじで 300 mm 以下の間隔で下地材に留め付ける。

(4) 亜鉛めっき鋼板等の取付け(下張り強化せっこうボードと中張り強化せっこうボードとの間に取付ける場合)

必要に応じて、亜鉛めっき鋼板等を下張り強化せっこうボードと中張り強化せっこうボードとの間に使用する場合は、予め現場の寸法に合わせて切断した亜鉛めっき鋼板等を下張り強化せっこうボードに配置し、亜鉛めっき鋼板等取付け用タッピンねじ等で下地材又は下張り強化せっこうボードに取付ける(必要に応じて下穴を開ける)。

(5) 中張り強化せっこうボードの取付け

中張り強化せっこうボードは、予め現場の寸法に合わせて切断する。また、壁幅が使用するボード幅を超えるような場合で、縦目地を設ける場合は、その縦目地位置が下張り強化せっこうボードの縦目地から 100 mm 以上、605 mm 以下となるように配置し、 $\phi 3.5$ mm 以上 \times L50 mm 以上のタッピンねじで 300 mm 以下の間隔で下地材に留め付ける。更に、接着剤(300~900g/m²)を併用して、幅 4 mm 以上、長さ 32 mm 以上のステーブル又は $\phi 3.5$ mm 以上 \times L32 mm 以上のタッピンねじで、一方は 300 mm 以下の間隔で、他方は必要に応じて任意の間隔で下張り強化せっこうボードに留め付ける。

必要に応じて、中張り強化せっこうボード相互の縦目地部に補強ジョイナーを挿入又は補強ジョイナー取付け用タッピンねじ等で留め付ける。

(6) 亜鉛めっき鋼板等の取付け(中張り強化せっこうボードと上張り強化せっこうボードとの間に取付ける場合)

必要に応じて、亜鉛めっき鋼板等を中張り強化せっこうボードと上張り強化せっこうボードとの間に使用する場合は、予め現場の寸法に合わせて切断した亜鉛めっき鋼板等を中張り強化せっこうボードに配置し、亜鉛めっき鋼板等取付け用タッピンねじ等で下地材又は中張り強化せっこうボードに取付ける(必要に応じて下穴を開ける)。

(7) 上張り強化せっこうボードの取付け

上張り強化せっこうボードは、予め現場の寸法に合わせて切断する。また、壁幅が使用するボード幅を超えるような場合で、縦目地を設ける場合は、その縦目地位置が中張り強化せっこうボードの縦目地から 100 mm 以上、605 mm 以下となるように配置し、接着剤(300~900g/m²)を併用して、幅 4 mm 以上、長さ 32 mm 以上のステーブル又は $\phi 3.5$ mm 以上 \times L32 mm 以上のタッピンねじで、一方は 200 mm 以下の間隔で、他方は必要に応じて任意の間隔で中張り強化せっこうボードに留め付ける。

必要に応じて、タッピンねじで 600 mm 以下の間隔で下地材に留め付ける。

(8) 壁端部の処理

下張り、中張り又は上張り強化せっこうボードのいずれかに、あるいはこの内の二者又は三者に目透かしを設ける場合は、目透かし幅を 10 mm 以下とし、それぞれの目透かし部に充てん材を隙間なく充てんする。